

北海道幌満鉱山ニッケル鉱床

調査者 高島 彰・梅本 悟

概要

鉱床は日高系変成岩類に属する閃緑岩質斑岩中の正岩漿性含ニッケル磁硫鉄鉱床で、幌満川支流のオピラルカオマップ川に沿つて、東西約1 km にわたり塊状乃至



幌満鉱山位置交通図

鉱染状の鉱床が点々と賦存する。

戦時中、富本鉱業部によつて開発が行われ約3,000tの出鉱を見たが、これは鉱床群全体から見ればごくわずかの塊状鉱の部分に主に対象となつたもので、他の大部分は未だ露頭のみで個々の鉱床の規模は不明である。

前に述べたように鉱石は高品位塊状のいわゆるムク鉱と低品位鉱染状のものとの二種に大別されるが、それらの品位を次に記す。

	Ni%	Co%	Cu%	S %
ムク鉱	0.5~1.5	0.06~0.2	0.5	25
鉱染鉱	0.2~0.6	—	—	2~10

かつて専ら採掘の対象となつたムク鉱の部分は残鉱量が少いが、鉱染鉱は相当の鉱量を予想し得るから、低品位鉱処理に一応の見通しがついた現在、磁硫鉄鉱資源として、また本邦に稀有なニッケル鉱資源のうちではややまとまつたものとして注目すべきであろう。ただ山元から幌満部落まで約20kmの間は漸くトラックを通ずるのみで、更に冬期は馬籠による外ないという困難な運搬事情が大規模開発を阻む瘡となつている。現在は休山中。

(月報 VOL. 4 NO.11)

山口縣玖珂地方のマンガン

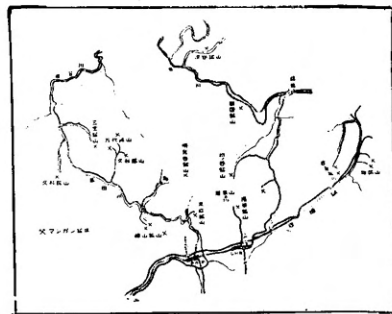
調査者 宮本 弘道

概要

本所経常事業の一部として山口縣玖珂地方のマンガン鉱床を調査したが、この地方のマンガン鉱床は玖珂郡の東部および南部の地域に散在し、そのうち今回鉱床地域として調査したのは主に南部に属する13鉱山(下図参照)21鉱床であつて、この地方にある主な鉱床の約半数に相当するものである。

鉱床は古生層中に見出され、形態的には互に雁行する小鉱体の集りからなるものが多い、その中で走行延長の最も長いものは万代鉱山の柳宗鉱床で、約130mに達するが、その他のものは100mに達するものは少く、30 m以下のものが普通である。

この地方にはけいマン(紅バラ石テフロ石等のマンガンけい酸塩鉱物が主となり比較的けい酸分の多い鉱石)を主とする鉱床が多く、手選精鉱はマンガン分を30~35%含んでいる。但し北部の錦川流域には炭マン(炭酸マンガン鉱たる菱マンガン鉱が主体となり、紅バラ石テフロ石等のけい酸マンガン鉱物が副成分として存在し、比較的けい酸分の少ない鉱石)を主とする鉱床が多く、マンガン分を40%以上含むものがある。



玖珂地方マンガン鉱山分布図

なお、各鉱床の上部、地表又は地表近くに黒色の酸化マンガン鉱がしばしば見られ、その品位は Mn50%に達するものがあるが、調査当時この種の鉱石を主として採掘していたのは岩国鉱山だけで、その外のは主要部をほとんど採掘しつくされていた。

調査結果としては品位 Mn25~35%のもので鉱量は数万tと見込まれる。調査当時は約 460 t の鉱石が毎月出荷されていたが、鉱床調査の結果から見ればなお増産の余地はあると思われる。(月報 VOL. 4 NO. 11)



床はその中の裂隙充填式辰砂准辰砂石英脈で、時に自然水銀を産する。

母岩は、鉱脈を中心として粘土化作用とけい化作用が広く行われている。

裂隙の配列には地質的に規則性がある。即ち北40°~55°西の走向を有し、20°~30°南に傾斜する雁行性裂隙で、これは断層によつて生じた一連のものと思われる。

鉱区内には三列の鉱化帯が認められるが、夫々前記の裂隙の集団からなつている。

今後は広くこの地方に分布する水銀鉱床の裂隙の関係を総括する観点に立つて、調査したいことを希望している。(月報 VOL. 4 NO. 11)

奈良縣大和水銀鉱山鉱床調査

調査者 岸本文男

概要

大和水銀鉱山は参宮線榛原駅から古市場方面行のバスで落合橋下車、山元まで約500mのところにある。

鉱区内には広く西南日本内帯の花崗岩類が発達し、鉱

出版だより

★★★ 地質調査所月報 ★★★

(第4巻 第11号)

報 文

- 宮本 弘道 : 山口縣玖珂地方マンガン鉱床調査報告
 岸本 文男 : 奈良縣大和水銀鉱山鉱床調査報告
 村岡 秀記 : 北海道札幌郡野幌地区地震探鉱調査報告
 森 喜義・南雲 昭三郎 : 反射地震探査用増巾器の自動利得調整(A.G.C.)に関する実験
 陶山 淳治 : 鹿児島縣大口鉱山電気探鉱調査報告

概 報

- 高島 彰・梅本 悟 : 北海道幌満鉱山=ツケル 鉱床概査報告

原口 九萬 : 兵庫縣津井炭鉱の炭層賦存状態について

(第4巻 第12号)

報 文

- 北村 信 : 岩手縣若柳地区地質調査報告
 村岡 誠・種村 光郎 : 新潟縣明星山石灰石調査報告
 柴藤 喜平 : 岩手縣野田玉川鉱山電気および磁気探鉱調査報告
 陶山 淳治・小林 創 : 鹿児島縣春日鉱山電気探鉱調査報告

概 報

- 山田 正春 : 愛媛縣赤石鉱山ズン岩・クローム 鉄鉱調査報告

★★ お し ら せ ★★

地質調査所東京分室 (新宿区河田町8) [鉱床部・燃料部・地質相談所・企画課] の電話番号が
 2月28日から東京三四局 (34) 7131~8 に変更になりました。